

2021年 12月 吉日

各位

日本建築学会近畿支部 材料・施工部会  
近畿生コンクリート圧送協同組合

## 第18回圧送技術研究会開催のご案内

### — 小型車両のスライズ式ポンプによるコンクリートの圧送性評価 —

拝啓 師走の候、貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃からコンクリート圧送に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、恒例となりましたコンクリート圧送・ポンプ工法に関する研究会も第18回を開催することになりましたのでご案内申し上げます。

日本建築学会近畿支部材料・施工部会 ポンプ工法WGでは、近畿生コンクリート圧送協同組合と共同でこれまでに15回のField実験を行ってまいりました。実験では、土木・建築工事で一般的に扱われているコンクリートの他、高強度・高流動コンクリートやフライアッシュ、銅スラグ細骨材などを用いたコンクリートについても、圧送性や管内圧力損失（K値）、さらにはさまざまな問題点を把握・解決し、その成果を圧送技術研究会、ならびに日本建築学会大会で公表してまいりました。

そして本年度も第18回圧送技術研究会を2022年2月24日（木）「大阪工業大学 梅田キャンパス」（Web同時配信）にて開催いたします。2020年はコロナ禍のため実験はできませんでしたが、2021年は9月末に緊急事態宣言の解除を受けて10月にスライズ式ポンプを用いたコンクリートの圧送性の確認実験を行うことができました。これまでのField実験の中心はピストン式ポンプでしたが、近畿生コンクリート圧送協同組合が保有するポンプ車の約半数が小型のスライズ式ポンプ車であることから、今回はスライズ式ポンプを用いて一般的に扱われているコンクリートの圧送性、ならびにこれまでピストン式ポンプを用いて得られている結果と比較を行いました。スライズ式ポンプ車は、中小規模の工事に対応しており、残コンが減らせるなどのメリットもあり、廃棄物抑制や環境配慮などに適したポンプ車です。この実験を元に、スライズ式ポンプ車の管内圧力損失（K値）や吸込み効率をあらためて見直し、圧送性評価ソフトへの反映も行う予定です。

より広範囲な皆様の関心の中で、より良いコンクリート構造物をめざしている関係者各位に参加を呼びかけるものです。品質・技術に熱意ある貴職におかれましては、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

開催日時：2022年2月24日（木） 13:00～17:00

開催場所：①大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー 3F 常翔ホール  
〒530-0013 大阪市北区茶屋町1番45号

② Web 同時配信（研究会後1週間程度、動画視聴できるようにする予定です。）

参加費：①常翔ホール ②Web とともに3千円（※研究会資料込み）

参加費支払方法

- ：①当日常翔ホール受付にてお支払いください。  
（その際領収書をお渡し致します。）
- ② Web 申込の方には郵便振替用紙をお送りいたします。  
（なお、領収書は研究会資料送付時に同封いたします。）

申込み：日本建築学会近畿支部ホームページの「新着イベント」からお申込みください。

<http://kinki.aij.or.jp>

なお、会場参加ご希望の方は後記の「会場参加申込書」により FAX または E-mail によるお申込みもしていただけます。

申込締切：2022年2月15日（火）

定員：350名 申込先着順

（① 常翔ホール：200名（会場定員576名）② Web：150名）

お問合せ：近畿生コンクリート圧送協同組合 ポンプ工法WG事務局

（tel：06-4393-8868 E-mail：[pump-wg@kinatsukyou.com](mailto:pump-wg@kinatsukyou.com)）

## 【Web参加のみなさまへ】

### 1. お知らせとお願い

- ☆申込締め切り後に申込時のメールアドレス宛にWeb参加用URLをお送りいたします。
- ☆視聴にはPCやタブレットなどの端末とインターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。
- ☆**Youtube**の使い方、動作環境についてのご質問についてはお受けできませんので、予めご了承ください。
- ☆参加者のみなさまのインターネット環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。当方では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。

### 2. 「土木学会認定 CPD プログラム申請（3.4単位）」の皆さまへ

- ・CPD受講証明は、事前の参加申込者のうちで、本研究会の所見（100文字以上の簡易レポート）を近畿生コンクリート圧送協同組合ポンプ工法WG事務局宛（[pump-wg@kinatsukyou.com](mailto:pump-wg@kinatsukyou.com)）にご提出いただき、受講されていたことが確認できた方に発行させていただきます。多少お時間をいただく場合もございますので予めご了承ください。
- ・また建設系CPD協議会加盟団体CPDシステムをご利用の方は、各団体のルールに沿って、CPD単位の申請をお願いいたします。申請の提出方法等は提出先団体に事前にご確認いただくとともに、土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがありますので、あわせて事前に提出先団体にご確認ください。なお土木学会では他団体の運営するCPD制度に関する回答はしていただけません。

## 【新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる留意事項とお願い】

### 1. 参加申込みにあたっての留意事項とお願い

- ① 新型コロナウイルスの感染状況等により、急遽開催の延期／中止または開催方法の変更をさせていただくことがございますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。（その際は申込者にメール等でご連絡のうえ、Webサイトにも掲載いたします）
- ② 発表が一部録画映像となる場合がございます。

### 2. 大阪工業大学 梅田キャンパス 常翔ホール参加者へのお願い

- ① 発熱・咳等の症状がみられる方は、体調を最優先していただきご来場を控えてください。
- ② 研究会当日は、必ずマスクを着用してください。
- ③ 会場入口において検温を実施します。37.5℃以上の発熱が認められるときは参加をお断りしますので、予めご理解・ご了承ください。
- ④ 手指の消毒・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ⑤ 整列時や入退館時の際には人と人との適切な距離の確保にご協力ください。
- ⑥ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域に訪問歴がある場合は、ご来場を控えてください。
- ⑦ 万一、参加者の感染が確認された場合で、保健当局において他の参加者が濃厚接触者に該当すると判断された場合、全員にメール等でご連絡させていただきます。 以上

# 近畿生コンクリート圧送協同組合 宛

FAX : 06 - 4393 - 8895 または E-mail : [pump-wg@kinatsukyou.com](mailto:pump-wg@kinatsukyou.com)

## 「会場参加申込書」

第18回圧送技術研究会			
「小型車両のスライズ式ポンプによるコンクリートの圧送性評価」			
お名前	ご所属	役職	メールアドレス ※
貴社（団体）名 _____			
ご住所 _____			
電話番号 _____		FAX 番号 _____	

※新型コロナウイルスの感染状況等により、参加は全てWebに変更される場合があります。その場合は参加者にメールにてご案内させていただきたく、できるだけご記入のほどお願い申し上げます。

## 第18回圧送技術研究会（案）

### — 小型車両のスクイズ式ポンプによるコンクリートの圧送性評価 —

日 時	2022年2月24日(木) 13:00~17:00	
場 所	大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワー 常翔ホール（大阪市北区茶屋町1番45号） Web同時開催(YouTube)	
共 催	一般社団法人 日本建築学会近畿支部 材料・施工部会 近畿生コンクリート圧送協同組合	
後 援 (予定)	公益社団法人 土木学会 公益社団法人 日本コンクリート工学会近畿支部 一般社団法人 大阪建設業協会 全国生コンクリート工業組合連合会近畿地区本部 和歌山県生コンクリート工業組合 大阪兵庫生コンクリート工業組合 コンクリート用化学混和剤協会 一般社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会 一般社団法人 日本建設機械工業会	
司 会	福島 和将（ポポリスソリューションズ株式会社）	13:00-13:15
主催者挨拶	山崎 順二（一般社団法人 日本建築学会近畿支部 材料・施工部会 主査） 香崎 清次（近畿生コンクリート圧送協同組合 理事長）	
来賓挨拶	（大阪府都市整備部事業管理室技術管理課）	
研究報告	報告1. コンクリートポンプ車について 永田 哲夫（近畿生コンクリート圧送協同組合）	13:15-13:30
	報告2. 第15回 Field実験(2021)の概要 杉本 勝幸（株式会社オーテック）	13:30-13:55
	報告3. 圧送前後のコンクリートの性状変化 高田 良章（株式会社フローリック）	13:55-14:20
	15分休憩	
	報告4. 輸送管の管内圧力および管内圧力損失の評価 山田 藍（株式会社竹中工務店）	14:35-15:20
	報告5. コンクリートの圧送状況の予測 木村 芳幹（株式会社コンステック）	15:20-16:05
	15分休憩	
	報告6. 車両管理支援システムによる圧送性の評価 江上 雅之（極東開発工業株式会社）	16:20-16:50
総 評	中村 成春（大阪工業大学工学部建築学科）	16:50-17:00